

## 2018年6月号へのご意見

### 対話的な研修を進めていきたい

次期学習指導要領が示され、教育課程や授業のあり方、評価、「大学入学共通テスト」を踏まえた対策など、見えない部分は多々あるが、6月号の特集を読み、「対話的な研修」を進めていきたいと思った。主体性や協働性など、見えない資質・能力を可視化しなければならないが、大学がそれらをどう評価するのか、どのレベルを評価するのか、疑問点は多い。教師や生徒が徒労に終わらないことを願う。各大学には明確な指針を示してほしい。

兵庫県立相生高校 西 茂樹

### 生徒の気づきを待つ重要性を再認識

専門高校に勤務しているため、『学校教育デザイン』を描く道標で紹介された京都市立京都工学院高校の先駆的な取り組みは参考になり、工業担当の同僚にも記事を勧めた。工業高校ならではの「資質・能力」が設定されてい

たが、高校卒業後すぐに社会人としてそれらの資質・能力が求められるからこそ、「～する力・態度」が具体的に示されているのだと思った。こうした資質・能力を生徒に確実に身につけさせていくことは難しいことであると共感するとともに、築山富司彦先生の「生徒の気づきを粘り強く待ちました」という言葉に、我々教師が生徒の3年間を見通して、「手を差し伸べる」時と「じっと見守り待つ」時を判断する重要性を再認識した。

静岡県立御殿場高校 美那川 雄一

### 生徒自身が振り返る課題一覧を工夫したい

夏期課題一覧を配布する際に、これまでいくつかの工夫をしてきたが、「改良！ 指導ツール ビフォーアフター」で示された、①生徒自身が課題を選ぶ、②課題を通して身につけたい力を記入させる、③何ができるようになったかを記入させるといった視点にハッとさせられた。それらを参考に、生徒自身が振り返り、次の学習に結びつくような課題一覧を作成し、配布したいと思った。

鹿児島県 匿名希望

## 教育 ちょこトーク



テーマ  
探究学習で  
生徒が設定してきた  
思いもよらない  
テーマ

- ・「明日はいつからか」。時間の流れを話した後だったが、その純粋な疑問に、答えが全く出せなかった。 千葉県
- ・「ツチノコなど、未確認の生物の研究」。まとまりあるレポートにはなっていないかったが、目のつけどころはよかった。生徒には既存の価値観にとどまっ

- てほしくないの、その事例を先輩に伝えている。 新潟県
- ・「コミュニケーション力と学力の関係性はあるのか」。生徒自身が学力について出してきたテーマだったので、定義やどのように言語化するのかに興味が湧いた。 静岡県

## 『VIEW21』高校版 公式アカウント

# LINE@

### 友だち募集中！

『VIEW21』高校版や教育に関連する最新情報をタイムリーにお届けします。お友だちの登録方法は、下の2次元バーコードを読み取っていただくか、LINEアプリの「友だち追加」>「ID検索」で「@view21」とご入力いただき、追加をお願いいたします。

ぜひ、お友だち登録をお願いいたします！  
アカウント名：@view21



### 編集後記

「生徒と紡ぐ情熱教師 File」（表表紙裏）や「教師を育てた言葉たち」（裏表紙裏）は1ページですが、人気のあるコーナーです。今号の「教師を育てた言葉たち」の取材では、北海道岩見沢農業高校の熊谷孝宏先生が書き続けた学級通信の厚さに、26年間、生徒と向き合い続けてきた重みを感じました。最後のページには体育祭の表彰状などともに、先生のメッセージがありました。生徒が自ら気づくまで「待つ」ことを大事にされているのは、「生徒と紡ぐ情熱教師 File」の三重県立松阪高校の尾邊英也先生も同じで、生徒たちが「指導してくれた、指示してくれた」ではなく、「背中を押してくれた」と表現していたのが印象的でした。（荻原）



VIEW21 高校版 2018 10 月号

次号は 10月15日発行（予定）

『VIEW21』高校版は年6回の発行です